

インターンシップを通して

盛岡大学 文学部 二年

岩手県社会福祉事業団を選んだ理由

- 福祉や介護系の仕事に少し興味があったため。
- 大学で専攻していることとは別の職業のスキルや知識を身に付けたかったから。

インタビューで学んだこと

- 施設を卒業した子供たちとも就労サポートや会社との連携でつながりがあること。
- 子どもたちを集団としてではなく、個々の特性などを活かして一人ひとりに寄り添った支援を行う。
- 障害者の方の気持ちをくみ取るまでの工程が難しい。

活動内容

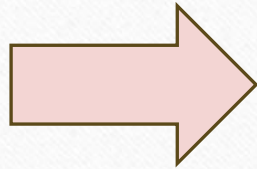
【てしろもりの丘】【歩夢】【和光学園】【みたけの杜】

概要説明

施設見学

インタビュー

お仕事体験



施設を見学してみて

【てしろもりの丘】

指導訓練室(よつばホール)やスヌーズレン室などがあり様々な遊具を使用していて感覚刺激を多く与えようとしていることが分かった。

【歩夢】

子どもたちがビーズやゲームをして遊んだり、就労している子供たちの様子を見ることができた。

【和光学園】

子どもたちの親代わりとしてのサポートを手厚く行っており心理士さんなどを通して心理的な支援を行ったり、子供と関係を深めていこうという姿勢が感じられた。

【みたけの杜】

就労や生活保護などでスタッフの方と会話をしながら生活している姿を見学することができた。

共通点

- 利用者さんに楽しくより豊かに生活してもらおうという気持ち。
- 一人ひとりに寄り添った環境づくりをしようとしている

まとめ

- 施設内だけではなく行事等で地域とのコミュニティにも大切にしているのだと思った。
- 施設ごとで雰囲気など大きく異なるが、共通点を見つけることができた。
- 職員の方や利用者さんとの関わりで私が持っていた障害者施設や児童養護施設のイメージが変わった。